

# 第33回全農日本カーリング選手権大会

## チームミーティング資料 〈審判長事前通知〉

青森県 青森市

みちぎんドリームスタジアム

(青森市スポーツ会館)

平成28年2月6日(土)～2月13日(土)



この文章は、大会の競技に関する事項をまとめたものであり、大会の開始に先立って、出場する各チームに大会事務局を通じて配布されます。

したがって、出場するチームの選手はもとよりコーチも、この文章を事前に読んで理解をし大会当日に持参して下さい。本大会はJCA競技規則2015.01版を適用します。

なお、特に必要があると認めたときは、大会中に追加通知を行う場合がありますので留意願います。

尚最終的な競技説明は2016年2月6日（土）午後5時30分からみちぎんどリームスタジアムで開催されるチームミーティングで行う。

プレーヤー全てとコーチはチームミーティングに参加しなければならない、というJCA競技規則C2(h)の項を確認のこと。審判長の承認なしに上記を怠った場合は当核チームの最初の試合でラストストーンの権利を放棄するものとする。

平成28年1月

大会審判長 竹内敏行

## カーリング精神

カーリングは技術と伝統のゲームです。技を尽くして決められるショットは見る喜びです。また、ゲームの神髄に通じるカーリングの古くからの伝統を見守るのは素晴らしいことです。カーラーは勝つためにプレーしますが、決して相手を見くんだりしません。真のカーラーは、相手の気を散らしたり、相手がベストを尽くそうとするのを決して妨げたりしません。不当に勝つのであればむしろ負けを選びます。カーラーは、ゲームの規則を破ったり、その伝統を決して軽視したりしません。不注意にもこれが行われていると気がついた場合、その違反を真っ先に申し出ます。カーリングの主な目的が、プレーヤーの技術の粋を競うことである一方、ゲームの精神は立派なスポーツマンシップ、思いやりの気持ち、そして尊敬すべき行為を求めています。この精神は、アイスに乗っているいないに関わらず、ゲームの規則の解釈や適用に生かされるだけでなく、全ての参加者の振る舞いにも生かされるべきものです。

## 1. 競技方法

第33回全農日本カーリング選手権大会は以下の競技方式によって行われる。

- ① 予選ラウンドロビン
- ② タイブ레이크
- ③ プレーオフ（予選1位VS予選2位・予選3位VS予選4位）
- ④ 準決勝
- ⑤ 決勝及び3位決定戦

## 2. ドーピング検査

- (1) 今大会では、ドーピング検査が実施される可能性があります。
- (2) 18歳未満の選手は[ドーピング検査同意書]の提出が必要です。

## 3. アイスへのアクセス

アイスで使用する履物は、いかなる時でもきれいでなくてはならない。（屋外で使  
したものは禁止）

## 4. 大会競技規則

JCA 競技規則, 2015 年 1 月版（水色表紙）と J C A ホームページ 2015 競技規則の解説  
及び 2016 競技規則改正資料に基づき行います。

## 5. 順位決定方法

- (1) 予選ラウンドロビンが終了した時点で、以下の条件（並んだ順に）によってチー  
ムのランク付けをする。【JCA 競技規則 C9（b）（i）（ii）（iii）（iv）】
- (2) 予選ラウンドロビンが終了した時点で、タイブ레이크が必要なときは JCA 競技規  
則のタイブ레이크チャートを基に審判長が決定する。（1 段階を超えるタイブレー  
クを要する場合は追加試合を行うこと無しにチームが敗退することもありうる。）

## 6. ストーンの割り当て

ラウンドロビンの試合スケジュールでは、対戦表で左側のチームが赤（暗い）色のハ  
ンドル、右側のチームが黄（明るい）色のハンドルのストーンを用いてプレーする。

## 7. プレー中のユニフォーム

- (1) JCA 競技者ユニフォーム規定、JCA 競技規則 C 3、ドレスコードを参照のこと。
- (2) 明るい色のハンドルのストーンを用いるとき、又は暗い色のハンドルのストーンを用いる場  
合は、それぞれハンドルの色に適応したシャツやジャケット・セーターを着用しな  
ければならない。

公式練習時に確認を行いますので、各回異なるユニフォームの着用を願います。

- (3) 試合や練習時においては、全てのメンバー（コーチ、補欠競技者含む）は JCA 競  
技者ユニフォーム規定に準じたユニフォームを着用しなければ、競技エリアに入る

ことを許されない（ジーンズは適切な服装と認められない）。

## 8. 予選ラウンドロビンでのラストストーンの扱い（1エンド目の後攻）

- (1) 試合前練習後にラストストーンドロワー（LSD）を行い、LSDの短いチームが1エンド目の先攻後攻を選択する。どちらのチームもハウスに入らなかった場合、あるいは入ったが同距離の場合は、コイントスをして決定する。
- (2) ラストストーンドロワー（LSD）【JCA 競技規則 C8（b）（c）】
  - ① 試合前練習後、ストーンを2投それぞれ異なるプレイヤーが時計回りと反時計回りの回転で投球する。（1投目を時計回り2投目を反時計回りとする）
  - ② 各プレイヤーは最低投球回数を満たさなければならない。
  - ③ 最低投球回数の要件を満たさない違反があった場合、相当するLSDは185.4cmと記録する。（本大会は3投）
  - ④ DSCは予選で投球されたLSDで、最も悪い記録2つを除いた平均距離である。

## 9. ラウンドロビン後のラストストーンの扱い【JCA 大会規則 C8（e）（i）（ii）（iii）】

- (1) 勝敗の記録が勝るチームが、1エンド目の先攻後攻を選択する。
- (2) 勝敗の記録が同一の場合は、予選の直接対決で勝利しているチームが、1エンド目の先攻後攻を選択する。
- (3) 1位と2位のゲームの勝者は、決勝戦の1エンド目の先攻後攻を選ぶことができる。準決勝で敗れたチームが3位決定戦の1エンド目の先攻・後攻の選択権を有する。先攻のチームがストーンの色を選ぶ。

## 10 試合前練習

- (1) 予選ラウンドロビンの試合開始前に、各チームは**5分間**の練習が許可される。練習に関する指示は館内放送で行われる。最初の練習は試合開始20分前から赤色ストーンのチームが練習を行い、終了後黄色ストーンのチームの練習が開始される。それぞれのチームは練習終了後に直ちにLSDを行う。残りの時間はアイス準備のために使われる。
- (2) 予選ラウンドロビン後の試合前練習は、ラストストーン**の権利を持ったチーム**（後攻）が先に練習を行う。

## 11. 試合スケジュール

- (1) 事前にJCAより各協会に、各協会より各チーム代表者へ配布されている。変更があればチームミーティングにおいて通知する。
- (2) タイムスケジュールに記載されている時間は**試合開始時間**です。

## 12. 試合（ゲーム）

- (1) 予選ラウンドロビン及びプレーオフともに**10エンド**で行う。  
最終エンド終了時点で同点の場合は、サドンデスのエキストラエンドを行う。
- (2) タイブレイクは**8エンド**とする。

- (3) 予選ラウンドロビンおよびタイブレイクの試合では少なくとも**6エンド**、プレーオフ以降の試合では、少なくとも**8エンド**終了する必要がある。

### 13. 計 時

- (1) 予選・決勝ラウンドの10エンドの試合では、各チーム**38分**のシンキングタイムが与えられる。
- (2) エキストラエンドが必要な場合は**4分30秒**のシンキングタイム、タイブレイクが必要な場合は**30分**のシンキングタイム与えられる。
- (3) エンド間のデットタイムは**1分以内**とし、準備が出来次第競技を開始することを認める。エキストラエンドにおいても同様に**10秒前の通告は行わない**。
- (4) 予選・決勝ラウンドでは5エンド、タイブレイクでは4エンド終了時点で**5分間のブレイク**が与えられる。チームは、コーチ・リザーブやチーム関係者に会うことが許される。**終了1分前告知後は準備が出来次第競技を開始することを認める。**時間経過後、自動的にタイマーは動き出します。**(10秒前の通告は行わない)**
- (5) どちらかのチームが必要ないのに試合を遅らせていると審判が判断したときは、その審判は違反を冒しているチームのスキップにその旨を告げる。その告知の後、デリバリーするストーンが45秒経過してもデリバリーをする側のティーラインに到達していない場合、そのストーンを直ちにプレーからはずす。**【JCA 競技規則 C6(m)】**

### 14. チームタイムアウト

チームタイムアウトは、各試合について**60秒を1回**、エキストラエンドでは**各エン毎に60秒**のチームタイムアウト1回取ることができます。(時計は止まります)

- (1) 選手は両手で「T」の文字を作って計時審判に向かって大きく明確に合図をする事。
- (2) チームの時計が動いているときのみ、アイス上のチームのプレーヤーがチームタイムアウトをコールできる。  
従ってコーチから選手に対して何らかの合図を送ることは認められません。
- (3) コーチの移動時間についてはホーム側**60秒**、ボード側**90秒以内**です。移動時間とチームタイムアウトの合計時間は時計が止まりますが、時間経過後はシンキングタイムに切り替わります。**(終了10秒前の通告は行います)**
- (4) 本大会ではホーム側・ボード側および両サイドの通路のみで選手との接触を認めますが、**アイスに上がることは認められません。**
- (5) コーチがいない場合はチームタイムアウトの60秒のみになります。
- (6) その他の事項については **JCA 競技規則 C7** 参照のこと。

### 15. アイスへのダメージ

選手は用具、手、体でアイス表面にダメージを与えてはならない。

アイスへのダメージに関しては以下の方針で対処を行う。

- ① アイスを傷める可能性のある深刻な動作、行動が審判によって見かけられた場合、または相手チームから判断を求められた場合、審判は時計を止め、確認を行う。
- ② 審判はその動作、行動が「偶然起こった」あるいは「避けることができた」のだった

たかどうか決定する。

- ③ もしもその動作、行動が避けることのできるものだった場合（例 ストーンをデリバリーしてから長い時間手や膝をアイスの上に置いた、スイープの指示を出す際、ハウス内の氷の上に長い時間手や膝を置いた）アイスメーカーの補助を得てダメージがあるかどうか判断する。
- ④ ダメージがなければ何も行わない。ダメージがあれば修復する。

**【手 順】【JCA 競技規則 R10(a)】**

- (i) チームミーティングでの警告、手順の説明
- (ii) 1回目 = 最初の公式なオンアイスでの警告、アイスの修繕
- (iii) 2回目 = 2回目の公式なオンアイスでの警告、アイスの修繕
- (iv) 3回目 = アイスの修復、選手のゲームからの退場

## 16. ラインナップカード

### ① オリジナルチームラインナップカード

当日の資料に同封されており、チームミーティング終了時に審判長に提出しなければならない。

### ② 選手交代用ラインナップカード

オリジナルラインナップカードに記載されているメンバーに変更がある場合は、その都度試合開始**35分前**に提出しなければならない。又試合前練習後や試合中にメンバーの変更が生じた場合も、この様式を審判長に提出しなければならない。提出後に交代する選手が競技エリアに入ることを許される。

(当日の資料に数枚同封されているのでその都度記入して提出すること。)

## 17. 計 測

全ての計測は審判が行なう。エンドの終了時に計測の要求があった場合は、選手は関係しない全てのストーンを取り除き、ホッグラインかハックの後ろまで離れて審判のために場所を空けなければならない。計測の時にハウスを任されていた者は、計測に立ち会っても良いが、計測に影響を及ぼさず、計測を妨げない位置にいないなければならない。審判は計測後ストーンを動かさずに、一番近いストーンを指示する。いずれかのチームは、再計測の要求をする権利を有する。【JCA 競技規則 R11(d)】

## 18. 選手の位置 【JCA 競技規則 R4】

投球動作中は、投球していないチームの選手はサイドライン沿いのコーテシーライン間の位置で静止してなければならない。但し、次の投球を行う選手は、投球する側のハックの後ろでシートの端の位置に静止していても良い。投球していない側のチームのスキップ、バイススキップはプレー側のバックラインより後ろの位置に静止していても良いが、投球している側のチームのスキップ、バイススキップの立ち位置を妨害しないこと。

## 19. ホッグライン

今大会は、ホッグラインセンサーを使用します。

デリバリー中に正しく機能するようハンドルのスイッチを入れる必要がある。そうでないと、ホッグライン違反のストーンとみなされる。【JCA 競技規則 R10(d)】

ただし、機械の不具合等の場合は有効ストーンとします。

## 20. 得点

そのエンドの得点が合意されたら、ハウスを任されているプレーヤーは速やかに報告してください。(審判員が得点を入れます。)

試合が終了した時点で、チームのスキップはスコアカードにサインをし、その際その試合の得点合計等、記載されている事項に間違いがない確認してサインをする。

## 21. プレーオフ進出決定チームに対するミーティング (タイブレイクミーティング含む)

ラウンドロビンが終了した時点でプレーオフ進出チームはプレーオフミーティングに1人もしくは2人(選手と、またはコーチ)で参加しなければならない。そうでないと通常与えられる選択権を失う。【JCA 競技規則 C2(h)】

時間、場所等は館内放送で案内されます。

## 22. コーチ席

コーチ席には3名まで座ることができます。補欠競技者、チームコーチ、ともう1名のチーム関係者です。(オリジナルラインナップカードに記載された人のみ)

## 23. 選手に対するインタビュー

試合前練習の前の時間において、中継される試合に関係するチームの選手やコーチに対してのインタビューが行われる場合がありますのでご了承願います。

又、試合後のインタビューは定められた場所で行われますのでご協力をお願い致します。

## 24. テレビ中継

(1) 全農日本カーリング選手権大会の試合が、大会期間中にNHKでテレビ放送される事になっています。試合中の選手とコーチ及びコーチ関係者各位のご理解、ご協力をお願い致します。中継に該当する試合では、選手の皆さんにピンマイクの装着をお願い致します。

(2) 女子決勝戦では、テレビ中継となりますのでよろしくお願い致します。男子決勝はテレビ録画が入る予定ですのでよろしくお願い致します。

※NHKの中継シートは、ブレイクタイムが1分以上(5エンド終了後除く)必要な場合もあるので、審判の指示に従ってください。

## 25. クレスト

ユニフォームに着けるクレストについては「JCA 競技者ユニフォーム規定」に沿って事前に許可されたもの以外は認められない。

#### 26. 静止画および動画撮影に関する同意

エントリー時点で肖像権等、個人の権利主張は行わないことを承諾したものとみなす。

#### 27. 相応しくない振る舞い

不当な行為、ヤジや不快な言動、用具の乱用、あるいは選手、コーチ、大会関係者への意図的な攻撃は禁止される。違反行為に対しては、退場処分を科せられる事がある。

#### 28. 報 道

カーリングを行うには報道機関の支援が必要である。従って、全ての選手、コーチ、チーム関係者は報道関係者の常識的な要求には協力することが求められるが、何か問題がある場合は、審判長、副審判長に伝えること

#### 29. 喫 煙

競技施設内は禁煙です。決められた場所をお願いします。

#### 30. 携帯電話

競技エリアに入る前に携帯電話の電源はオフにするかマナーモードにしてください。

#### 31. 整理整頓

チーム及び個人の持ち物はすべて競技エリアの後方に整理整頓し、歩行エリアやスコアボード前には物を置かないこと。

施設内は常に整理整頓をし、ゴミは全て各自で持ち帰ること。